

外国語教育の実践

守谷市立愛宕中学校

1 はじめに

今年度本校英語科では「基礎・基本を活用し、自己を表現できる生徒の育成 ―学習形態の工夫を通して―」というテーマを設定し、研究にあたってきた。コミュニケーションの基盤となる基本的・基礎的な学力を定着させ、それを基に自己を表現しようとする態度を育成することができるよう、ペアやグループ学習などの学習形態を工夫してきた。

2 具体的な実践内容

(1) 第1学年の取組

第1学年においては英語でコミュニケーションを図ることの楽しさを実感できるように配慮した。小学校との連携を図るため、Phonics と守谷コミュニケーションチャレンジを活用した Q&A 活動に継続的に取り組んだ。Phonics の学習を通して、文字と音のつながりを認識することができ、Q&A 活動では小学校でも親しんだ表現が多く扱われていることで自信を持って活動に取り組む姿が見られた。

また、既習の表現を用いて skit (短い対話文) を作成する活動を多く取り入れ、4 技能を総合的に育成した。生徒たちは豊富なアイデアで学習した表現をより効果的に活用できる場面や状況を設定し、楽しみながら表現力を高めていた。

(2) 第2学年の取組

既習の表現を用いて、自己について表現したり自分の考えを簡潔な英語を用いて伝える能力を育成できたりするよう配慮した。Super input (リズムに合わせて基本文を口頭で練習する) 活動を継続的に行い、Intake 学習に取り組んだ。また、Output 活動として提示したモデルやヒントを活かして、日常生活について表現したり自分の思いを伝えたりする様子を見ることができた。

特に Let's read を始めとする読解教材においては、ワークシートを工夫し4 技能を総合的に育成できるようにした。Reading で読み取った内容について writing や summarizing をしたり、本文の内容に関して listening したことについて speaking をしたりという活動を通して、情報を的確に把握し、表現する能力を育成することができた。

(3) 第3学年の取組

既習の表現を効果的に組み合わせ、より複雑な文法を用いて自己について表現したり、世界にも目を向け自分の考えを発信したりすることができる生徒を育成できるよう努めた。

第2学年と同様に Super Input に継続的に取り組み Intake 学習に力を入れた。Output 活動として、様々なテーマについて意見を書く・述べる活動を取り入れた。また、卒業に向けて自分の夢についての英作文に取り組んだ。自らの将来に思いを馳せ、学習することの大切さを実感したことでさらに英語に対する学習意欲が高まったようだ。また、世界で起きている問題に対して理解を深めるため、教科書の人種差別の教材に関連してインターネットで動画を視聴した。その活動を通してより高い問題意識を持ち、自らの思いを英語で表現しようとする生徒の姿を見ることができた。

また、3年間の学習のまとめとして中学1年生からの学習内容について Super input で振り返り、総復習に取り組んだ。

3 成果と課題

各学年において基礎・基本の定着に力を注いだことで、英語で自己を表現することに自信をもち、話すことや書くことを通じて自らの考えを伝えることに高い興味・関心を示す生徒が増えた。

またペアやグループなど学習形態を工夫したことで、生徒同士の学び合いが見られ、分からない箇所を級友に質問する姿や、アイデアを持ち寄りながらより良い表現を模索する様子が観察できた。個人では英語を学習することに難しさを感じていた生徒も、級友の力を借りながら課題に取り組んだり自己を表現したりすることができるようになり、以前よりも積極的に学習に取り組む姿も見られた。

今後さらに生徒たちの学ぶ意欲を喚起することができるよう、学習課題を工夫し、自己表現の機会を増やすことで、生徒たちが英語を話したり書いたりする場を数多く設定できるよう配慮したい。また、学年間の連携を密にし、3年間を見通した指導にも継続的に取り組んでいきたい。

【実践事例：第3回外国語活動推進委員会】

守谷市立愛宕中学校 第1学年 外国語科指導案

授業者 JTE 川上 優紀
 ALT Nicole Marchetti
 学習支援ティーチャー 武富 岸子

1 単元名 Unit 6 ベッキーのおばあちゃん

2 本時の学習

(1) 目標

他者にインタビューした結果を三人称単数現在形を用いて表現できる。

(2) 準備・資料 ワークシート・音楽プレイヤー

(3) 展開 ◆は「学びのプラン」との関連、★は研究主題に迫るための手立て

時間	学習活動・内容	指導上の留意点・評価
1分 3分 5分	1 あいさつをする。 2 単語ビンゴをする。 3 愛宕コミュニケーションチャレンジで会話練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをし、英語学習の雰囲気を作る。 ★単語に関する4技能を総合的に育成させる。 ★文法構造の基礎を身につけ、英語でコミュニケーションを図る素地を養わせる。
5分	4 フォニックスについて学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で取り扱ったフォニックスを発展させ取り扱うことで、生徒が自信を持って英語の音に親しめるよう配慮する。ALTの発音でネイティブの音に慣れさせる。
2分	5 本時の学習課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・T1が学習の流れについて説明し、生徒たちがALTの先生方と会話を楽しむ機会を設定する。
5分	6 グループでインタビューの内容について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ★グループ活動を設定し、生徒たちが互いに聞き合い教え合うことのできる状況を作る。 ・JTE, ALTともに各グループを回り、生徒たちの作る質問文についての支援を行う。
5分	7 用意した質問を元に、ALTの先生方に質問をする。	<ul style="list-style-type: none"> ★グループ内で役割分担をし、全ての生徒が互いに支え合いながらインタビューができる環境を作る。 ◆目的や意図をはっきりさせて分かりやすく話し、インタビューを効率的に進めさせる。
13分	8 質問した内容を三人称単数現在形を使ってまとめ、発表の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ★グループで学習に取り組みさせることで、生徒たちが互いの疑問点を解消したり新たなアイデアを得たりできるように配慮する。 ・JTE, ALTともに担当する班の生徒を支援し、必要であれば助言を行う。
10分	9 ALTの先生方についてまとめた情報を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ★グループ内で役割を分担させ、全ての生徒に発表の機会を持たせる。 ・他のグループの発表を聞くことで、リスニング能力を育成させる。 (評) インタビューの内容を三人称単数現在形の文に変え、紹介できたか。(観察・ワークシート)
1分	10 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を振り返り、次回の学習への意欲を持たせる。